

授業科目名	【G】	行政法(地方自治法)	区分 選択	開講年次	【G】3	単位数	【G】2	
	【H】	行政法(地方自治法)			【H】3		【H】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブタイトル	地方自治の法と仕組み			担当者	八木 保夫			
授業概要	【概要】	地方自治法を中心に、地方自治に関する法体系の仕組みと機能について学ぶ。地方分権、市町村合併、首長や議員の選挙、住民投票、まちづくり、青少年対策、高齢者対策、公務員の不正問題、産業振興、情報公開・個人情報保護等々、日々私たちの直面する問題についても適宜選択しつつ進めていく。						
	【到達目標】	地方公共団体に関する法制度を理解し、問題解決のためにはどのような活動が可能か考えることができる。						
履修条件	憲法概論、行政法概論は履修済みであること。行政法総論Ⅰ・Ⅱ、行政救済法は履修済みか並行して受講することが望ましい。							
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	－ (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)						
他科目との関連性	事前に憲法概論、行政法概論、憲法(人権)Ⅰ、行政法総論Ⅰ・Ⅱ等を履修していること、並行して憲法(人権)Ⅱ、行政救済法等を受講すること、本科履修後、行政法各論、環境法等のいずれかの科目を受講することが望ましい。							
教科書	授業中に、適宜、資料を配布する。							
参考書	宇賀 克也『地方自治法概説(第10版)』(有斐閣, 2023年), 松本英昭『地方自治法の概要(第6次改訂版)』(学陽書房, 2014年), 小幡純子・斉藤 誠・飯島淳子編『地方自治判例百選(第5版)』(有斐閣, 2023年), 等							
評価方法	授業3回に1回程度の頻度(通算5回程度)で出題する学習到達度確認テスト(択一課題)への回答(45%), 毎回事前に提示する資料の空欄補充課題への回答(15%), 毎回授業終了時に提出する復習課題(小テスト)への回答(30%)に加え、授業への取組姿勢等(10%)を勘案して総合的に評価する。なお、不正行為があった場合は大幅減点とする。							
フィードバック方法	毎回事前に提示するレジュメ資料の空欄補充課題の正解を当該授業中において解説すると同時に、欠席者を配慮して、クラスルーム上にも提示し、授業終了時に提出する復習課題の正解および学習到達度確認テストの正解を、課題出題の次の週の授業において解説すると同時に、クラスルーム上にも提示して、学習内容の定着と振り返りを促す。							
評価基準	地方自治法の役割・特徴について十分理解し文章等で説明できる者は程度に応じてSまたはA評価, 地方自治法の特徴についてよく理解できる者はB評価, 地方自治法で使用される用語の意味について一応の理解ができる者はC評価, C評価に満たない者については程度に応じてDまたはE評価とし, 学習到達度確認テストの不受験等, 評価不能な者に対してはF評価とする。							

授業科目名	【G】	行政法(地方自治法)	区 分	開講年次	【G】3	単位数	【G】2
	【H】	行政法(地方自治法)	選 択		【H】3		【H】2
授業回数	授業内容						
1	地方自治法の地位と性格 予習： 現行法体系における地方自治法の位置付けについて調べる(100分) 復習： 地方自治の観点から日常生活を捉え直す(80分)						
2	地方自治の基礎理論 予習： 団体自治の根拠について考える(100分) 復習： 地方自治の基礎理論について理解する(80分)						
3	地方公共団体の構成要素 予習： 地方公共団体の構成要素を調べる(100分) 復習： 地方公共団体の構成要素について理解する(80分)						
4	地方公共団体の種類 予習： 地方公共団体の種類を調べる(100分) 復習： 地方公共団体の種類の全体を概観する(80分)						
5	地方公共団体の事務 予習： 地方公共団体の新旧の事務を比較する(100分) 復習： 地方公共団体の事務について理解する(80分)						
6	行政主体間の役割分担, 事務配分 予習： 都道府県と市町村の事務配分を調べる(100分) 復習： それぞれの行政主体の役割について理解する(80分)						
7	地方公共団体の権能①(自主組織権)、②(自主行政権)、③(自主司法権) 予習： 地方公共団体の基本的な権能を調べる(100分) 復習： 地方公共団体の組織・行政活動について理解する(80分)						
8	地方公共団体の権能④-1(自主財政権1— 地方分権改革での位置づけ) 予習： 地方公共団体の自主財政権を調べる(100分) 復習： 地方公共団体の歳入について理解する(80分)						
9	地方公共団体の権能④-2(自主財政権2— 地方税) 予習： 地方税の種類を調べる(100分) 復習： 地方公共団体の税収について理解する(80分)						
10	地方公共団体の権能⑤(自主立法権) 予習： 地方公共団体の自主立法権を調べる(100分) 復習： 条例制定権の範囲について理解する(80分)						
11	地方公共団体の機関 予習： 地方公共団体の機関の種類を調べる(100分) 復習： 地方公共団体の各機関の役割を理解する(80分)						
12	住民の権利義務①(直接請求・住民監査請求) 予習： 住民の請求権について調べる(100分) 復習： 直接請求と住民監査請求について理解する(80分)						
13	住民の権利義務②(住民訴訟) 予習： 住民訴訟の手続を調べる(100分) 復習： 住民訴訟の役割について理解する(80分)						
14	住民の権利義務③(住民参加) 予習： 住民参加のあり方を考える(100分) 復習： 住民参加の手続について理解する(80分)						
15	おわりに(総括) 予習： 配付資料を整理し見直す(100分) 復習： 地方自治の身近な諸問題について考える(80分)						
その他	他の履修者の提出物の模倣, 他の者による身代わり回答等, 履修態度が良くない者には厳正に対処する。						